



# 亀戸中だより

“笑顔と本気で真剣な姿”のある学校

本校教育目標：「思いやりの心を持ち、主体的に行動できる人間を育成する」  
「探究」「敬愛」「挑戦」



令和7年12月10日発行  
江東区立亀戸中学校  
<https://kameido-chu.koto.ed.jp/>  
発行者 校長 三浦 秀樹

## 江東区こどもの権利に関する条例について

校長 三浦 秀樹

江東区において昨年制定されました「江東区こどもの権利に関する条例」について、私たち大人に求められる役割を考えたいと思います。

この条例は、世界基準である「国連・子どもの権利条約」の精神を受け継ぎ、「こどもは一人の独立した権利の主体である」という、極めて重要な理念を区全体で共有するためのものです。また、子どもたちを単なる「守るべき対象」としてではなく、「社会を共に創る大切な一員」として位置づける、意識の大きな転換を私たち大人に求めています。

この条例が保障する、子どもたちの「生きる権利」「守られる権利」「育つ権利」「意見を表明し、参加する権利」を実質的なものとするためには、学校の取り組みだけでなく、ご家庭、そして地域社会全体と学校との連携、さらに子どもの権利への意識的な支援が不可欠です。

地域の皆様には、学校外が多様な場所で、子どもたちの「育つ権利」と「参加する権利」の保障についてご協力をお願いできればと思います。例えば、地域行事の運営において、子どもたちの意見を聴く場を設けていただけると助かります。また、登下校時や放課後の活動において、多様な個性を持つ子どもたちが安心して過ごせる見守りの目と、温かい声かけのご協力をお願いできればと思います。地域の皆様の存在が、子どもたちにとっての安心と成長の基盤となります。

そして保護者の皆様へ。思春期を迎える子どもたちは、まさに自立と自己決定の力を育んでいる途上にあります。ご家庭内での日常的な対話の中で、お子様が自分の意見や考えを安心して表現できる環境を整えていただくことが、子どもの「参加する権利」の礎となります。学校は、主体的な学習や生徒会活動を通じて、その力を社会に広げる体験の場を提供します。

学校、家庭、地域がこの条例の理念のもとにしっかりと手を携え、子どもたちが未来社会の担い手として、自分らしく健やかに成長できる環境を、共に築いていきましょう。

